

使ってみよう!

# デジタル教科書

実践事例集

中学校社会編

## 景観写真を用いた学習—— 2

栃木県宇都宮市立陽南中学校 主幹教諭  
安岡卓行

## 「問い」が生まれる資料の 提示と発問の工夫—— 4

滋賀県中学校 教諭

## 価格の決め方と 市場でのはたらきを 考える—— 6

東京都品川区立荏原第五中学校 教諭  
諸戸彩乃



日文のWebサイト



日文 🔍



# 景観写真を用いた学習

栃木県宇都宮市立陽南中学校 主幹教諭 安岡卓行

本授業は、第1章「人々の生活と環境」の単元のまとめの時間にあたります。本単元は、学習指導要領解説によると、「世界各地における人々の生活の特色やその変容の理由を、その生活が営まれる場所の自然及び社会的条件などに着目して多面的・多角的に考察し、表現すること」のできる資質・能力を身に付けることが求められています。そこで、これまで学習してきた内容についての新出の資料を提示することにより、世界のさまざまな生活と環境を学び直すことを目的としました。特に、衣食住の「住居」を題材として授業を設定しました。学習の基本的な事前準備としては、教科書P25「スキルUP 写真を活用する①写真から地域の特色を読み取る方法」の学習をふまえ、P42の「世界各地の人びとの生活と環境をふりかえろう」の「①学習した内容をふりかえ

る」の写真置き換える形で学習を進めることとします。

新たに生徒に提示する2枚の写真は、いずれも床が地面から高い住居です。これまでの学習で「湿度や熱をさけるため、床が高く風通しがよい」ということを熱帯地方の住居の特徴として学んできています。それにより熱帯地方の暑さと湿度について学びますが、それが「熱帯地方=高床」と短絡的な学びになってしまうこともあります。「社会は暗記だ!」という考え方が一般的にまだ見られますが、「知識量、すなわち学力」という固定概念に一石を投じる学習を行います。これまでに身に付けた学習内容をもう一度覆すような事実を用いて、既得概念を打ち壊すことにより生徒に揺さぶりをかけ、これまでの学習内容をより深めた形で理解させることをねらいました。

写真1はオーストラリアのクイーンズランドのもので、教科書P28の資料と同様に高床の住居ですが、屋根や壁の素材が異なり近代的な建物であることに着目させます。「暑さと湿度を避ける」という点では同様ですが、このように家屋のつくりの違いが出るという、これらの事実も同様に生徒の知識に揺さぶりをかけることにつながります。写真2はロシアのアナドゥイリのもので、同じ高床であっても、家屋の暖房によって凍土が溶けることを避け、凍土が溶けても家屋が傾かないよう地下の岩盤にまで柱を突き刺す、という理由もあります。写真を用いて地域を同定する

学習は、ともすれば一問一答クイズの答え合わせのようになりがちです。または「この場所を知っているか、知らないか」のような単なる知識量をはかるだけの学習にとどまってしまう恐れもあります。しかし、このように問いを工夫することによって多面的・多角的に思考する学習を展開することができます。その際にデジタル教科書を使用すると、写真を細部まで拡大して確認することが可能です。また、これまでの学習箇所を用いた写真と並べて比較することもでき、いずれもデジタル教科書の有効性です。

## 【本時の目標】

初見の写真を読み取ることを通して、世界各地の人々の生活と環境での学習内容について多面的・多角的に考察し、より一層単元の内容の理解を深める。

## 【本時の展開例】

生徒の活動と内容	指導上の留意点
<b>①導入</b> <span style="float:right">10分</span> P42の「①学習した内容をふりかえる」に取り組む。 ・新たに提示された2枚の写真を確認する。 ※デジタル教科書を使って、拡大確認する。	・写真から地域の特色を読み取ることを通して、生活と環境の学習を振り返る。 ・「①学習した内容をふりかえる」の進め方で写真を読み取る。
<b>学習課題 「この家ほどの気候帯のものか」</b>	
<b>②展開</b> <span style="float:right">30分</span> 写真がそれぞれの気候帯にある住居なのかを考える。 ①建物の床が高いから、熱帯。 ②建物の素材・材質が同じだから、乾燥帯。 ③周囲の樹木を見ると、同じだろうか（高床家屋）。 ④家の構造、材料、素材などは同じだろうか。 ・教師の問いを聞き、再び考え直しを行う。 ⑤同じ高床だが、周りの植物のようすが違う。 ⑥家の見た目が違う。	・教科書の写真を手がかりとして考えられるようにアドバイスする。 ・デジタル教科書を用いて、生徒が視覚的に比較できるように画像等を並べる。 ・これまでの既習内容にたより、形状だけを見て思考・判断・表現しないよう、個別に揺さぶりをかける声かけを行う。
<b>③まとめ</b> <span style="float:right">10分</span> 新たな写真がどの気候帯のものかを判断することを通して、気候区分についてどのような理解を深めることができたか、その考えを書く。 ①異なる気候でも、住居が同じような形状（床が高い）になる場合があるということがわかった。 ②暑くないところや凍土のないところでも、床が高くなる場所はあるのだろうか。 ③このほかにも同じ形の住居になる場所があるのか知りたい。	・本時で改めて考えたこと、新たに気付いたこと、さらに出てきた疑問等を中心にまとめるよう指示する。 ・何人かに発表させ、その意見や疑問をクラスで共有する。

**「この家ほどの気候帯のものか」**

**写真1**



〈予想〉熱帯  
〈理由〉  
・暑さをさけるため  
・湿度が高いから

〈疑問〉家のつくり  
〈理由〉  
・家の構造がしっかりしている。  
・ソーラーパネルがある。

オーストラリア  
・熱帯  
・「クイーンズランダー」という伝統的な住居

**写真2**



〈予想〉??  
〈理由〉  
・建物が熱帯っぽくない  
コンクリート  
・植物が違う

〈疑問〉熱帯?  
〈理由〉  
・家の壁がコンクリート…暑さを防げない?  
・家の階段が高い位置にある。なぜ?

ロシア、アナドゥイリ  
・寒帯  
・凍土がある地域

～まとめ～  
 ・本時で改めて考えたこと、新たに気付いたこと、さらに出てきた疑問  
 「異なる気候だが、住居が同じような形状（床が高い）になることを知った」  
 「暑くないところや凍土のないところでも、床が高くなる場所はあるのだろうか」



# 「問い」が生まれる 資料の提示と発問の工夫

滋賀県中学校 教諭

本単元は、学習指導要領（歴史的分野）大項目B中項目「(3) 近世の日本」にあたります。この中項目では、16世紀から19世紀前半までの歴史を扱い、我が国の近世の特色を、世界の動きとの関連を踏まえて課題を追究したり解決したりする活動を通して学習します。近世の社会の変化のようすを理解するための知識を身に付け、まとめの学習では、近世の日本を大観し、他の時代との共通点や相違点に着目して、学習した内容を比較したり関連付けたりするなどして、その結果を表現する活動を行います。

単元を学習するにあたっては、毎時間の学習課題（問い）を設定することで、社会的事象の歴史的な見方・考え方をはたらかせ、その課題について多面的・多角的に考察、表現できるようにしていくことが大切です。単元の導入にあたる本時では、近世の日本を概観して、その特色を探っていくとすると課題意識を育てるとともに、交易を通して世界の結びつきが強まったことを背景に近世社会が成立したことをとらえさせ、単元を学習し

ていくための問い（や以後の学習課題）を設定できるようにします。そのために、デジタル教科書を活用して以下の三つの活動を行います。

- ① 中世と近世の政治権力をイメージすることのできる絵図（図1と図2）を比較して近世のイメージをつかむ。
- ② 年表から、近世という時代を見通す。
- ③ 地図を読み取り、日本と世界のつながりを確認する。

このように、絵図を比較して読み取ったり、年表や地図を読み取ったりする活動を通して、安土桃山時代から江戸時代までの「近世」とよばれる時代のイメージをつかませます。その際には、歴史的な見方・考え方をはたらかせることのできる発問に工夫し、「強大な力をもった近世の将軍は、中世と比べてどのような時代をつくっていったのか」などのように、近世の日本が成立した要因やその結果を考察していくための問い（や以後の学習課題）を、生徒自ら設定できるようにします。

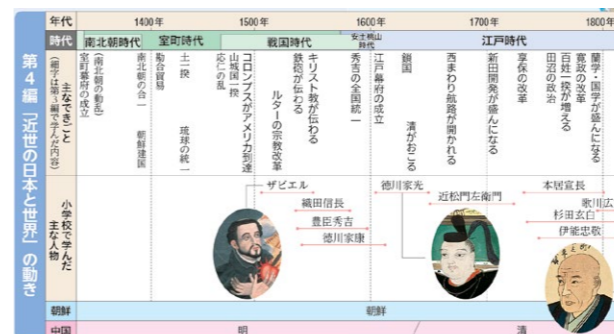
## 発問 1

図1と図2の絵図の特徴や違いを読み取り、話し合ひましょう。  
また、今のあなたが考える「近世」の将軍のイメージを書き出してみましょう。



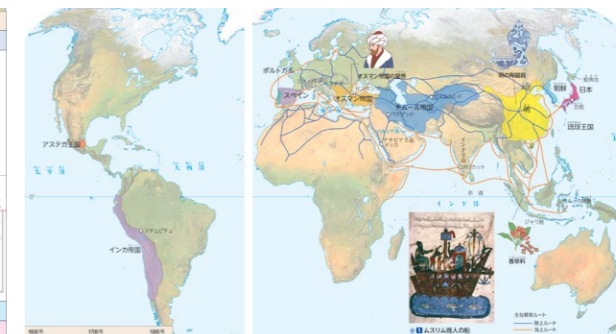
## 発問 2

年表を読み取りましょう。



## 発問 3

地図を読み取りましょう。



## 【本時の目標】

「近世」の将軍のイメージをつかみ、第4編（「近世の日本と世界」）の学習の見通しをもつ。

生徒の活動と内容	指導上の留意点
<b>① 導入 5分</b> 教 第4編では、どのような学習をするのだろうか。 学習課題 「近世」の将軍のイメージをつかみ、第4編の問いを立てよう。	・小学校の既習知識をもとに「近世」とはどのような時代だったのかを確認させる。
<b>② 展開 35分</b> 教 図1と図2の絵図の特徴や違いを読み取り、話し合ひましょう。そして、あなたが考える「近世」の将軍のイメージを書き出しましょう。 生 室町幕府の将軍の屋敷は、家臣と同じぐらいの大きさだけど、江戸幕府の江戸城は、他の大名と比べてとても大きい。 生 中世と近世の将軍の建物を比べると、近世の将軍のほうが圧倒的に大きく、守りもかたそうだ。 教 年表を読み取り、話し合ひましょう。 生 ヨーロッパ人が日本に来た後、信長や秀吉、家康の活躍によって全国が統一された。 生 ヨーロッパ人の世界進出が進んだ。 生 江戸時代は乱や一揆などの争いが減っている。 教 地図を読み取り、話し合ひましょう。 生 中国では国名が宋から明に変わっている。 生 オスマン帝国が東ローマ帝国を滅ぼした。 生 アジア貿易を通してヨーロッパと日本が繋がった。	・デジタル教科書に収録されたコンテンツの洛中洛外図屏風や江戸図屏風の絵図解説を活用して読み取りを支援する。「室町幕府の将軍と管領の屋敷はどれかな。大きさを比べてみよう」「室町幕府の将軍邸（室町殿）と江戸城を比べてどんなことが読み取れるかな」 【比較】 ・「小学校で学んだ人物はいつごろに活躍したのか」「世界ではどのようなことが起きているか」「江戸時代はそれまでの時代と比べてどのような変化が起きたのか」などの発問により、時代の流れや移り変わりに着目させる。 【時系列・推移】 ・「(教科書の) P82の中世の地図と比較して、ユーラシア大陸の国々はどう変わっているか」「日本と世界はどのように繋がっていたのか」などの発問により、時代の流れや外国とのつながりに着目させる。 【推移・つながり】
<b>③ まとめ 10分</b> 教 第4編の問いを立てよう。 生 強大な力をもった近世の将軍は、中世と比べてどのような時代をつくっていったのか。	・日本の近世では、ヨーロッパとの関わりがみられるようになり、国内では乱や一揆などの争いが減っていることをおさえ、以後の学習で「なぜこのような変化が起これ、その結果、社会にどのような影響を与えたのか」について追究していくことを確認する。



# 価格の決めり方と市場での はたらきを考える

東京都品川区立荏原第五中学校 教諭 諸戸彩乃

生徒にとって、価格とはどのようなものでしょうか。そこに自分たちは関係なく、ルールや規則と同様に、相手によって決められているものだと認識をしているかもしれません。でも、その価格決定に自分たちも影響を与えているとしたら。

市場では、財やサービスが自由に売買され、需要と供給によって価格が決まっていきます。この価格決定にはさまざまな要素が絡み合います。生徒も含めた消費者の「欲しい」という思いがニーズであり、いわゆる需要側として価格決定に影響を与えます。供給側はそのニーズもくみ取って判断をして商品を供給していくことで、両者のバランスが取れ均衡価格が決まります。この見えない力がはたらいている、駆け引きのような楽しさを、供給側に立って考えてもらうことにしまし

た。社長という役割を通して効率や希少性に着目をし、考えてもらいます。導入の部分では教科書は開かずに、教科書のカレンダーを編集したものを使用し、社長として旅行代金の価格設定を考えてもらうところから始めます。その際に効率と希少性を判断材料にすることを条件とし、判断した理由を考えてもらうようにします。

また、需要供給曲線の理解は、中学生にとってはイメージすることが難しく、中学校の公民的分野でもつまづきが多くみられる部分です。デジタル教科書の動画解説及び、アニメーションを活用することで、理解を促すようにしたいです。

日常での需要側の経験と、今回の供給側の経験から、価格の決めり方と市場経済での価格変動のはたらきにも気付くことを目標とします。

## 【本時の目標】

価格の決めり方について理解をし、価格には人的資本や物的資源を効率よく配分するはたらきがあるということに学習活動を通して気付くことができる。

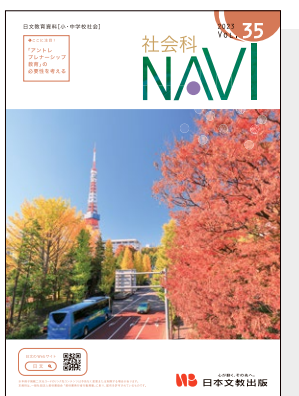
## 【本時の展開例】

生徒の活動と内容	指導上の留意点
<p><b>①導入 10分</b></p> <p><b>教</b> みなさんに会社の社長になってもらいます。経営者として二つの問いに対して経営判断をしていってもらいます。</p> <p><b>教</b> 旅行会社の社長になったつもりで、旅行カレンダーの価格設定を考えてもらいます。理由も含めてどのように考えたか周囲と共有する。</p> <p><b>生</b> お盆休みはやっぱり高いから。</p> <p><b>生</b> お客さんが少ない時に高くしたほうが売上げが得られるから。</p> <p><b>教</b> 次はレストランの社長になったつもりで、トマト料理を積極的に提供する時期を考えてみましょう。</p> <p><b>生</b> 夏野菜のイメージだから7月。</p> <p><b>生</b> 安い時期に買って後で出したほうがメニューの値段を高くできそうだから。</p> <p>時間があれば周囲とまた共有を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒は指示があるまで教科書は開かない。</li> <li>ワークシートと教師が提示するデジタル教科書のみで授業を進める。</li> <li>判断の際に、「効率」と「希少性」を大切にすることを伝える。</li> <li>経営者としての不正解はないが、一般的な話として、需要が高いときに価格を高くしたほうが売上げにつながるということは伝える。</li> <li>デジタル教科書 2、3の図の入荷量のみ提示。平均価格の2月くらいまでを見せ、あとは生徒に考えてもらう。</li> <li>※導入部分はワークシートでなくても、デジタル機器等に記入させ、考えを共有し合ってもよい。</li> </ul>
<p>学習問題：価格はどうに決まり、どのようなはたらきをもつのだろうか。効率と希少性に着目して考えよう。</p>	
<p><b>②展開 33分</b></p> <p><b>教</b> もう少しトマトについて考えていきましょう。まず動画をみます。デジタル教科書 1の動画を見た後、教科書 P135 のアクティビティに取り組む。</p> <p><b>生</b> ワークシートに取り組み、価格、グラフ、アクティビティのAとBの場合について記入する。</p> <p><b>教</b> AとBの確認を、デジタル教科書 2を活用し解説する。その後、ワークシート①～④を生徒と一緒に埋めていく。</p> <p>次に生産者が生産量を変えるにはどのような方法があるか考えましょう。ワークシート⑤も確認。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒にはここで教科書を開いてもらう。</li> <li>これから見る動画に、この後授業で使う新しい用語が出てくることも伝える。</li> <li>最初は個人で考えさせ、生徒のようす次第では周囲との相談を可とする。</li> </ul>
<p><b>③まとめ 7分</b></p> <p><b>教</b> 市場経済において、価格の上がり下がりとはどのようなはたらきをしているか、本文から探し線を引きましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>デジタル機器が使用できるのであれば、生徒に線を引き出した部分の写真を撮って提出させる。</li> </ul>

# 日本文教出版 各種資料のご案内

機関誌 **社会科 NAVI**

**社会科 NAVI プラス**



年に3回発行。  
授業実践例、授業力アップのための記事をはじめ、先生方の授業の役に立つ情報が満載！



「評価と指導の一体化」「ポートフォリオを使用した学習評価」「一人一台端末の活用方法」「SDGsについてわかりやすく解説！」の4冊シリーズで順次発行。

## デジタル教科書のサイトへ

学びを広げ、  
新しい一歩へ。

デジタル教科書の本質は、誰もが学びを広げるために存在する。そのためにも日々多忙な現場教員の負担を減らし、子供たちが楽しく学びを広げるデジタル教科書を日文はご提供します。

日文のデジタル教科書について



令和2年度版小学校  
令和3年度版中学校  
デジタル教科書  
サポートサイト



使ってみよう！ デジタル教科書  
～実践事例集・中学校社会編～

日文教授用資料 [中学校社会]  
令和5年(2023年)11月30日発行

編集・発行人 佐々木 秀樹

日本文教出版株式会社  
〒558-0041 大阪市住吉区南住吉4-7-5  
TEL: 06-6692-1261  
FAX: 06-6606-5171

本書の無断転載・複製を禁じます。

CD33696

日本文教出版株式会社  
<https://www.nichibun-g.co.jp/>

大阪本社 〒558-0041 大阪市住吉区南住吉4-7-5  
TEL: 06-6692-1261 FAX: 06-6606-5171

東京本社 〒165-0026 東京都中野区新井1-2-16  
TEL: 03-3389-4611 FAX: 03-3389-4618

九州支社 〒810-0022 福岡市中央区薬院3-11-14  
TEL: 092-531-7696 FAX: 092-521-3938

東海支社 〒461-0004 名古屋市東区葵1-13-18-7F-B  
TEL: 052-979-7260 FAX: 052-979-7261

北海道出張所 〒001-0909 札幌市北区新琴似9-12-1-1  
TEL: 011-764-1201 FAX: 011-764-0690